

# EU 法

(2016年5月10日)

---

以下の問題に答えなさい。また、かっこ内に適語を入れなさい。

1. 1950年5月9日に出された（ ア ）に賛同し、西欧の（ イ ）ヶ国は、1952年7月、（ ウ ）を設立した。（ウ）の存続期間は（エ）年間であったため、2002年5月に消滅し、その管轄権は（オ）に継承されている。
2. （ウ）を設立した国をすべて挙げなさい。
3. 第2次世界大戦後の平和の確立、（カ）や（キ）を目的とし、三つの欧州共同体が設立されたが、その中心的役割を果たしていた共同体は（ク）である。なお、（キ）は、大戦の実質的勝者は（ケ）と（コ）であり、ヨーロッパ諸国の力が相対的に弱くなったことを受けている。
4. （ク）を設立した国をすべて挙げなさい。
5. 3つの欧州共同体は（サ）に基づき設立された。（サ）は全ての加盟国によって締結され、かつ、（シ）された後に発効する。（シ）には、（ス）と（セ）という意義がある。
6. イギリスが三つの欧州共同体に加盟したのは（タ）年である。原加盟国とならなかった理由を2つ挙げなさい。

三つの共同体に加盟する代わりに、イギリスは他のヨーロッパ諸国とともに（チ）を設立した。（チ）は加盟国間の通商規則を統一し、貿易を自由化する一方、第3国との貿易には制限を設けることができる。なお、その内容は加盟国間で（ツ）。

7. 1930年代、世界経済は大きく停滞し、大恐慌が世界各地を襲った。そのために各国は保護主義に傾倒するが、これが国際摩擦を生み、第2次世界大戦につながったとされている。これを反省し、1947年には諸国間でGATT（関税と貿易に関する一般協定）が締結されたが、GATTは、ある締約国が他の締約国との貿易にかかる関税を15%から10%に減らすならば、その他の締約国との貿易にかかる関税も10%にしなければならないとしている。これを（テ）と呼ぶ。欧州経済共同体（EEC）は加盟国間での貿易は自由化するものの、第3国との貿易には制限を設けていた。これは（テ）に反するため、GATT上の例外規定に基づき、（ト）として欧州経済共同体は設立された。

8. EU は、( ナ ) 年 11 月、( ニ ) 条約に基づき設立された。それに伴い、欧州経済共同体は ( ヌ ) と名前が変わった。
9. EU 体制の発足当初、3 つの共同体は存続していたが、( ネ ) は 2002 年に消滅した。また、欧州経済共同体 (EEC) も、( ノ ) 年、リスボン条約に従い廃止された。
10. EU は商品、人、サービスおよび資本の移動の自由を保障している。この 4 つの移動の自由が保障された空間を ( ハ ) と呼ぶが、これは 1986 年に採択された ( ヒ ) に従い EC 条約内に取り入れられた概念である。
11. EU 内では ( フ ) の移動の自由が保障されている。そのため、加盟国出身のスポーツ選手は他の加盟国へ行き、プレーすることが保障され、外国人枠によって出場が制限されることはない。
12. 加盟国は EU に多くの、かつ強力な権限を与えている。その結果、加盟国はもはや独自の法律を制定することができず、EU によって法律が制定される分野がある (例えば、通商政策)。そのため、EU は ( ヘ ) と呼ばれている。
13. EU には強力な権限が与えられているが、教育に関する権限は加盟国が保有している。そのため、学校教育をどのように行うかは、EU ではなく、加盟国によって決定される。全ての加盟国の公用語はアルファベットで記されるが、子供の学力が低下しているため、筆記体を廃止するか、また、鉛筆ではなくすべてコンピュータで入力するかは加盟国によって決定される。なお、コンピュータ産業が発展しているフィンランドが EU に加盟したのは、東西冷戦終結後の ( ホ ) 年である。
14. 日本人観光客であれ、ドイツからフランスへ移動するとき、パスポート検査を受けなくて済む。この制度は ( マ ) 協定に基づき発展した。